

「心温まる医療を提供」

辞令交付式で 新入職員決意

室蘭の2総合病院

室蘭市内の民間総合病院で1日、新規採用職員の辞令交付式が行われた。新入職員は希望と決意を胸に秘め、新たなスタートを切った。

知利別町の社会医療法人製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）は、看護師や放射線技師、言語聴覚士、理学療法士、介護福祉士の計36人が入職。

看護部の真鍋ちほさんが新入職員を代表して辞令を受け取り、一向



足永理事長から辞令を受け取る新入職員—製鉄記念室蘭病院

上心を持ち、知識・技術・精神を高め、患者さまに心温まる医療が提供できるよう、努力したい」と決意を披露。

足永武理事長は、がん患者に対して病名を伏せる時代から、告知した上で治療を選択してもらった時代が変わった「治療の進歩」を踏まえ、「患者さんと接すること、皆さんの糧になる。一人一人の患者さんを大切にしたい」と激励した。

また、新富町の社会医療法人母恋・日鋼記念病院（柳公貞院長）では看護師や放射線技師、作業療法士ら計98人が、決意を新たに社会人としての第一歩を踏み出した。

（松岡秀宜）